

このように環境に配慮したまちづくりを行っており環境に優しく機能的なまちというイメージが浸透していますが、私がびっくりしたのは見た目に関して**ものすごく美しい町**であるということです。

普通日本なら商店街のような繁華街を一步でるとボロボロの見るも無残な住宅地がたくさんあります。
でもフライブルクはどんな小さな路地に入っても本当に美しい。
なぜだろう？

やはり住宅地に関しても電線類地中化がおこなわれています。
こんな小さなまちにでも景観形成がしっかり徹底しているのです。

日本との違いは、やはりドイツの役所がしっかり都市景観政策を推し進めていることにあります。
自然と景観を人間の生活の基礎と位置づけているため、細部まで**自然保護、景観保全を重視したまちづくり**が行われています。



路面電車がまちの中心にあり、住宅地の道路側には**自分が家庭菜園できる畑、散歩できる森**が全て**10分**足らずのところで行けてしまいます。

日本は経済成長のみを重視するあまり、便利なようだが逆に不自由な生活なのかもしれません。

本当に住みよい場所というのは、経済が豊かで物質的に満足した生活を送れる場所か、不便だが自然がたくさん残っており景観が美しく精神的に充足する場所どちらか選択するものだと思っていました。

しかし今回視察にドイツ、特にフライブルクに行き感じるのは、どちらも満たす場所は存在するという事です。

裏面に続く...

当NPOのホームページでも、最新情報を詳しく載せていきます。ぜひこちらへもアクセスして下さいね！<http://nponpc.org/top.aspx>



竹川事務局員です！



「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA

第10

発行日：2009年4月15日（水）

発行者：NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田昇

【特集】

ドイツ・フライブルクの電線類地中化

今回は、ドイツのフライブルクを特集します！フライブルクは、環境保護の活動や交通整理、街並みづくりに力を入れており、先進国でも有数のきれいな街並みをもつことで有名です。今回は、竹川事務局員がフライブルクを訪問し、実際に電線のない美しい街並みを見てきていただきました。

☆竹川事務局員の現地レポート☆

ドイツの小さな町、フライブルクに行ってきました。

ここはドイツの中でも南に位置し、フランクフルトから特急電車で約2時間の町。フランス・スイスの国境に近くにあります。

人口約20万人のうち3万人が学生であり、町中の活気を感じました。

フライブルクは、1992年に「**自然と環境の保全に貢献した連邦都市**」の指定を受けてから世界的な環境施策都市として有名になりました。

環境施策としては、

- ①行政組織
- ②自然保護
- ③交通
- ④ゴミ処理対策
- ⑤広報活動
- ⑥エネルギー
- ⑦エコロジカル・インフラ

の7つの重点施策を行っています。



創ろう！爽快な景観と美しい街並みを

★ 最近電線類地中化に関して調査をしていて、興味深い文献に出会いました。大東文化大学法学部教授・早稲田大学政治経済学部講師の土岐寛先生が書かれた「景観行政とまちづくり」(時事通信社 2005年)という本です。内容を一部紹介したいと思います。

電線地中化はしたが・・・

2004年に東京・新宿区の早大南門通りが電線類地中化をした。そこは区道だが、早稲田大学には光ファイバーのケーブルを大学に引きたい、多数の学生の通行上、電柱があると危険などの理由から、南門商店会に協力要請した経緯があった。大学の新校舎建設による大型車両の往来で道路が痛み、区から舗装修復の打診を受けていたこともあった。

中略

地中化には1年半から2年かかっている。新学期に歩いて何か前と違う印象を受けたのだが、すぐに電柱がなくなったとは感じなかった。それは街灯の支柱に専門学校などの広告がたくさん吊るされていたからだろう。その後、学生と調べた結果が前記の通りだが、この電線類地中化事業は安全性や利便性のため、景観向上のためではなかった。商店会は2005年2月現在、区の許可も受けないうまま、広告から多額の利益をあげているらしい。せっかく電柱がなくなったのに、街灯は広告の支柱と化している。専門学校、各種学校にとっては魅力的な宣伝空間で、商店会には利益を生む空間かもしれないが、公共空間の景観を損なっている認識がほしい。

今までは電線類地中化を行えば景観は良くなると思っていました。しかし、広告や看板などによって美しい景観の創出が妨げられている事例があることを知り、一般の人々の認識も重要であることがわかりました。宣伝空間化を防ぐためには、まず広告禁止のアナウンスをすること、そして市民のみなさんに電線類地中化をする意味とすばらしさを知っていただく必要があります。全国のみなさんに広くきれいな大空を体感しながら生活していただくために、これからも電線類地中化のお手伝いをしていきたいと思えます！

でもそれは自然に成り立つものではなく、お役所の綿密で継続的な都市計画によって完成します。

日本はまだまだ断続的で長期的な視点で都市をみる観点が欠けています。そのためこんなにもまちに電柱が乱立し、電線が空を覆うのです。まちを美しくするためにはひとりひとりの努力なども大事ですが、やはり行政が主体となって継続的に機能する仕組みが必要だと考えます。

地中化先進諸国に習って 電線電柱を地中に埋めよう！



☆お知らせ☆

6月に電線類地中化に関するセミナーを開催します！！
見学会と講演会の二部構成を予定しております。
見学会では、実際に電線電柱がない空を体験いただけます！
また、講演会では興味深いお話をたくさん聴いていただけます！
ふるってご参加ください！！詳細に関しては次号でお知らせします。

メールマガジンも好評配信中です！

当NPOでは、メールマガジンも配信させていただいております。
電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！
ぜひこちらにもご登録ください！
アドレスはコチラ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>